

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	イオンリテール株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
工場等の名称	そよら上飯田
工場等の所在地	愛知県名古屋市北区織部町1-1
業種	卸売業、小売業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	販売店
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月31日 ~ 令和6年10月29日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) 掲示板に表示
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-916-6240		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

CO2排出量削減に向けて環境負荷の少ない運営や環境に配慮した商品の取扱いを推進していきます。

環境負荷を小さくし地域へ貢献し、環境法令を守ることで環境事故を予防します。

1・省エネ促進

省エネ運用管理の徹底・省エネチェックリストを作成し運用。電気使用量昨年対比90%を目標とする。

2・食品廃棄物の削減

1) 食品廃棄量の削減

店での進捗管理・発注精度の向上・販売要領の見直し・夕刻の売り切り実施

2) 廃食油・魚のアラのリサイクル

惣菜の油屋魚のあらを回収し、飼料・油脂等にリサイクル

使い捨てプラスチック削減対応（レジ袋削減、マイバック、マイバスケットの推

進)

3・環境マネジメントシステムの継続的实施

店舗において目標の設定。毎年見直しを実施し、他店舗間での相互監査を実施

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		8	t-CO ₂
（温室①を酸効果除く炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		8

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 4 年度		令和 7 年度		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度			
温室効果ガス総排出量	7	t-CO ₂	7	t-CO ₂	8	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.5	%	▲ 19.2	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 4 年度		令和 7 年度		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		
原単位あたりの排出量									
削減率（対基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりのみなし排出量									
削減率（対基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

前年比で約4%の増加がありました。原因としてはお客様利用量の増加と外気温の上昇や天候の変化が挙げられます。ガスは食品関係で主に使用し、商品の調理量が増えた為、電気は2023年は2022年より7月と9月の平均温度が2℃以上上がっており、空調機の負荷が高くなったと考えられます。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	エネルギー使用量の把握・計測・記録・分析 計測機器の導入による、使用実績の見える化	電気、水道使用量の昨年対比率95%	月1回のメンテナンス会議で使用量を共有し、前年比の超過があれば原因を分析
省エネルギー・省資源の推進	空調機、外調機の運転時間の短縮によるエネルギー消費の低減	開店と同時に運転、閉店1時間前に停止	外気温と天候に合わせて、不要時は空調の停止を実施
省エネルギー・省資源の推進	発注室、休憩室、事務所等の退出時の照明・空調の不使用	毎回実施するよう従業員に周知	不要な照明の消灯を実施 従業員に定期的に周知
省エネルギー・省資源の推進	照明のタイマー設定を季節ごとに変更し、不要な照明を消灯 店内照明の明るさを時間ごとに調整	夏季は夜間照明を遅く点灯する 昼間は夜間と比べ店内照明を80%程の使用量に落とす	日の入時間と季節に合わせて照明の消灯タイマーと照度の設定を変更
省エネルギー・省資源の推進	退出時にパソコンの主電源を切る 事務用機器の電源コンセントをスイッチ付きのものとし、不使用時にオフにする	毎回実施するよう従業員に周知	不要な電子機器のコンセントを抜く 従業員に定期的に周知
省エネルギー・省資源の推進	自動販売機の不要な照明を消灯 エスカレーターに人感センサーによる自動運転を導入		設置済み
廃棄物の排出抑制等	重要ではない書類のコピー時に、両面コピーや裏紙を使用する 事務所に可燃用ゴミ箱の他に、紙資源用の分別ボックスを設置して古紙をリサイクル	毎回実施、分別するよう従業員に周知	可能であれば裏紙を使用 紙資源用の回収ボックスを設置しリサイクルを実施
廃棄物の排出抑制等	生ごみの堆肥化（野菜・果物くず、魚あら）	可燃ごみではなく生ごみとして出すよう従業員に周知	可燃ごみと生ごみで分別し、生ごみをリサイクルに出す
森林の保全・緑化の推進	企業グループで森林の保全及び整備活動の実施 店舗の屋上緑化、壁面緑化	緑化植物の管理	屋上・壁面緑化の実施

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 5 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 5 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 各トイレに節水装置を設置
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 従業員へ節電に関するお知らせの実施 閉店後エレベーターの運転停止
